

令和5年度次世代ステーション創造事業

「あいの風とやま鉄道線福岡駅（富山県高岡市）バリアフリー化整備計画（案）」

1. 事業の目的・内容及び必要性

令和4年3月に策定した「福岡駅前地区移動等円滑化基本構想」において、福岡駅を重点整備地区内の生活関連施設に位置付けるとともに、福岡駅における改札（下りホーム）と上りホームを結ぶエレベーターの設置を移動等円滑化のために実施する特定事業として定めたところである。

バリアフリー法に基づく「移動等円滑化の促進に関する基本方針」（以下、「基本方針」という。）においては、一日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上である鉄軌道駅、並びに2,000人以上3,000人未満であって重点整備地区内の生活関連施設である鉄軌道駅については、令和7年度までに原則として全てについてエレベーターの設置等による移動等円滑化を実施することとされており、福岡駅については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の平成29年度から令和元年度までの1日あたりの平均利用者数が2,004人であり、基本方針の基準に該当することからエレベーターの設置による移動等円滑化を実施するものである。

2. 事業の定量的な目標及び効果

福岡駅にエレベーターこ線橋を新設し、改札（下りホーム）と上りホームの移動における段差を解消することで、1日当たり2,004人（平成29年度から令和元年度までの平均）の利用がある福岡駅での移動および利用に係る利便性、安全性の向上が図られる。

3. 事業内容及び期間

	令和5年度	令和6年度
主な事業内容	福岡駅へのエレベーターこ線橋の設置等の工事実施	

4. 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担割合

	令和5年度	令和6年度
事業費	660 百万円	

【内訳】

	国の補助率 1/2	
負担者	負担額	割合
高岡市	165 百万円	25%
（富山県（※1））	（82.5 百万円）	（12.5%）
国	330 百万円	50%
あいの風とやま鉄道株式会社 （富山県並行在来線経営安定 基金を充当）	165 百万円	25%
計	660 百万円	

※1 富山県から高岡市への補助

5. 協議会の開催状況と主な議論

開催	年月日	場所	主な内容
第1回	令和3年2月8日	書面開催	・概要説明 ・協議会設置要綱、委員選任
第2回	令和3年8月20日	書面開催	・策定目的等の共有 ・重点整備地区、生活関連施設及び生活関連経路の設定(案)について
第3回	令和3年10月29日	高岡市	・まち歩き点検 ・生活関連施設及び生活関連経路の課題の共有
第4回	令和3年12月14日	書面開催	・基本構想(素案)に関する意見聴取
第5回	令和4年2月16日	書面開催	・基本構想(案)に関する意見交換

6. 福岡駅のバリアフリー化に対する地域住民、鉄道利用者の意見及び整備計画への反映状況

- ・基本構想の策定に際し、高齢者・障がい者等の移動制約者へのアンケート調査を実施した。(令和3年9月30日～11月2日)

→日常生活で移動の際に、不都合を感じていることについての質問項目では、福岡駅におけるエレベーター未整備に関する意見が最も多かった。(回答者67人うち17.9%)

これらの意見を踏まえ、福岡駅のバリアフリー化を図るため、あいの風とやま鉄道株式会社、高岡市及び関係団体等が緊密に連携し、整備を進めていくこととした。

(協議会の構成(委員の所属))

学識経験者	高岡法科大学
高齢者、障がい者団体	高岡市老人クラブ連合会 高岡市身体障害者協会 高岡市手をつなぐ育成会
公共交通事業者	あいの風とやま鉄道株式会社 福岡交通株式会社
関係団体	高岡市連合自治会 高岡市社会福祉協議会 高岡市商工会
関係行政機関	国土交通省北陸信越運輸局 国土交通省北陸地方整備局 富山県高岡土木センター 富山県警察本部高岡警察署
高岡市	高岡市

令和5年3月29日

福岡駅前地区移動等円滑化基本構想推進協議会